

水俣の奇病解明へ

近く熊大教授ら総合検討

四月からさる六月にかけて水俣市
月浦で手足が硬直して麻痺する奇
病が流行、患者十二人のうち三人
が死んだが、これについて二十四
日水俣市立病院で六反田熊大教授

伊藤水俣保健所長ら関係者が集つ
て総合検討することになった。な
おさきに現地から伝染性の有無に
ついて調査をたのまれた六反田教
授は患者十二例の血液、便につい

てしらべているがまた結論がでて
いない、しかし奇病にかかった猫
を化血研、熊本市古京町で動物
接種試験した結果では伝染性の病
原体は出なかつたという。